

第3章 計画のめざすところ

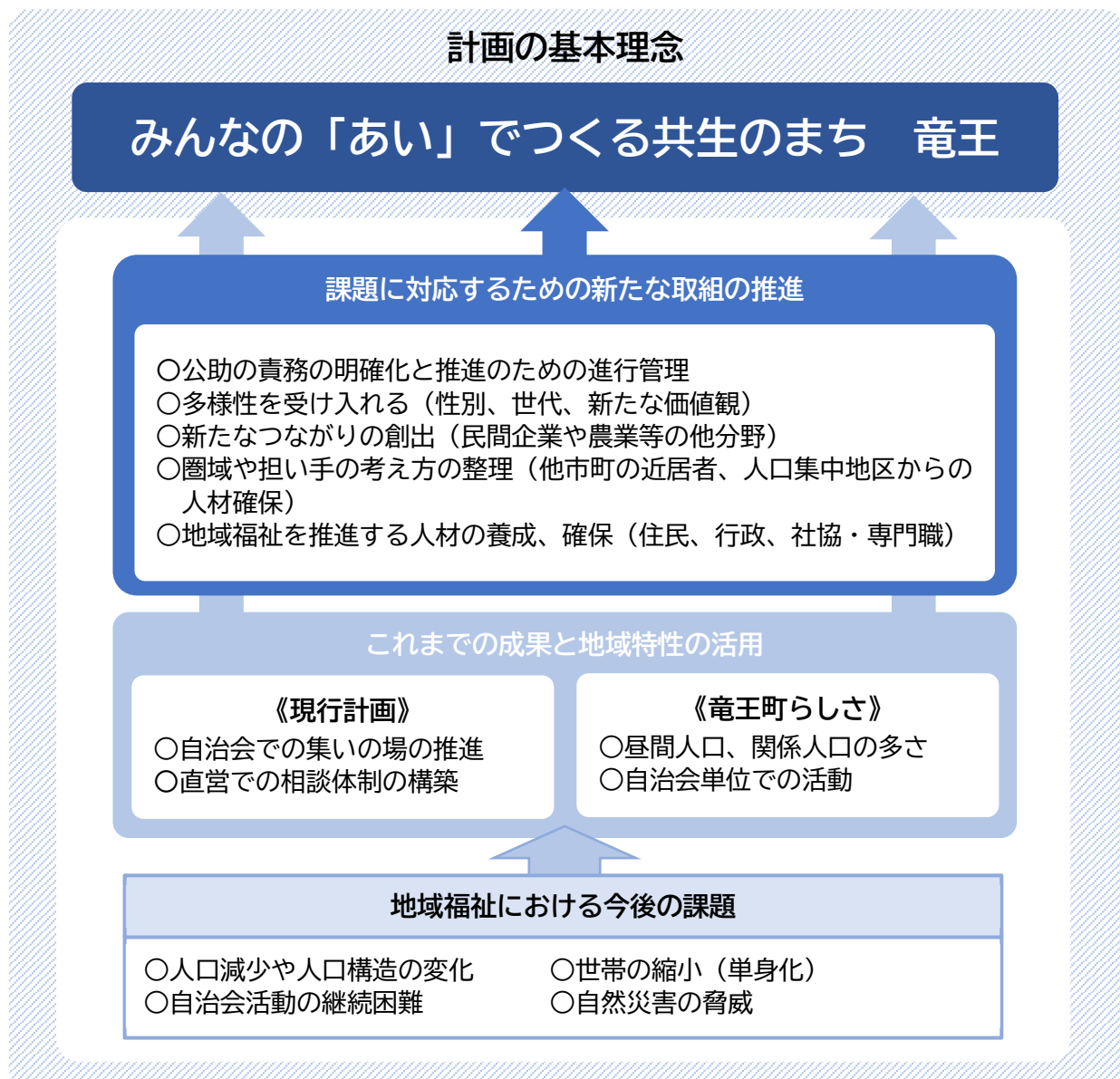
1. 計画の基本理念

本町ではこれまで、「みんなの『あい』でつくる 福祉のまち竜王」を基本理念として、様々な「あい」であふれるまちの実現をめざして地域福祉計画および地域福祉活動計画を推進してきました。

この度新たに策定した本計画では、本町がこれまでも計画の推進を通じて大切にしてきた、地域への愛着、思いやり等のみんなの「あい」を一層育んでいくことを推進します。それに加えて、社会的性差、世代、居住地等の属性を超えて、ともに支えあう“お互い様”を基本とした地域づくりを進めていきます。

そして、すべての人が社会との接点を持ち、地域や一人ひとりの強みを活かしながら、安心して暮らせる地域社会を実現するため、『みんなの「あい」でつくる共生のまち 竜王』を新たな基本理念として掲げます。

■基本理念の構成イメージ



2. 竜王町における圏域や担い手の考え方

地域福祉の効果的な推進のためには、専門性の高い総合的・広域的な福祉サービスの提供から自治会等の住民による見守り活動等といった、各圏域に応じた推進体制を整備することが必要です。

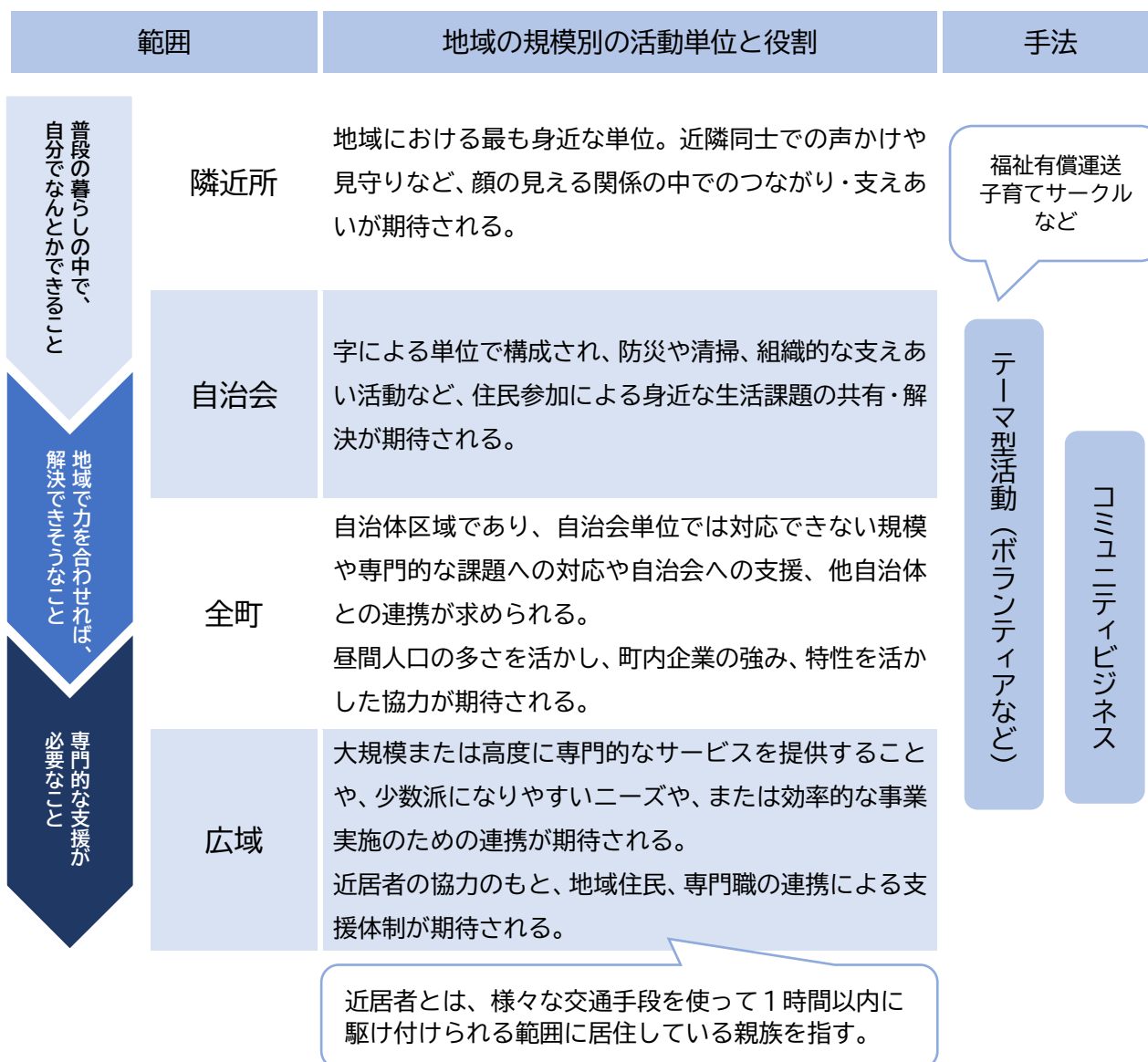
本町は、自治体域（町域）が一つの中学校区である小規模な自治体です。また、32 地区ある自治会は、現在まで惣村の歴史をつむいでいる自治会と新興住宅地の自治会に大別され、それぞれの規模等に合わせた住民自治に取り組んでいます。

自治会域を超えて、関心や得意分野から展開するテーマ型の地域活動や NPO 法人等による市民活動については、地縁型の活動と連携、補完しあいながら展開していくことが期待されます。

コミュニティビジネスという就労、いきがい、持続可能性を追求した手法も期待されます。

また、近居者、町外から町内に働きに来ている人等の往来も踏まえて、竜王町に接点のある人の協力を得る体制がますます必要となってきます。

■ 竜王町における圏域の整理



3. 計画の基本目標

基本理念の実現に向け、以下の基本目標を掲げます。

今回の計画では、基本理念に掲げている「～しあい（お互い様）」という意味の“あい”を基本目標の中に組み入れています。

基本目標1

であいとわかちあいで風土づくり

誰もが地域社会の中で多様な価値観をわかちあい、支えあう、共生の考え方が風土となるよう、人権問題や男女共同参画の課題、様々な特性や属性の人に対する理解を深めるための取組を進めます。

また、新たな風を吹かせる人と郷土に暮らす人など、様々な人や団体が織りなすネットワーク構築のための出会いづくり、つながりづくりを進めます。

基本目標2

お互い様の支えあいで仕組みづくり

住民同士、関係者同士が顔の見える関係になり、困ったときには気軽に相談でき、支えあいにつながるよう、集いの場等の居場所をつくるとともに、同じ悩みを抱える人同士や世代間の交流を深め、お互い様の絆づくりを進めます。

また、独居高齢者や地域との接点が少なく埋もれやすい人への声かけ、見守り等の小地域福祉活動等を通して、普段からの関係性構築から、いざという時にも支えあうことのできる地域づくりを進めます。

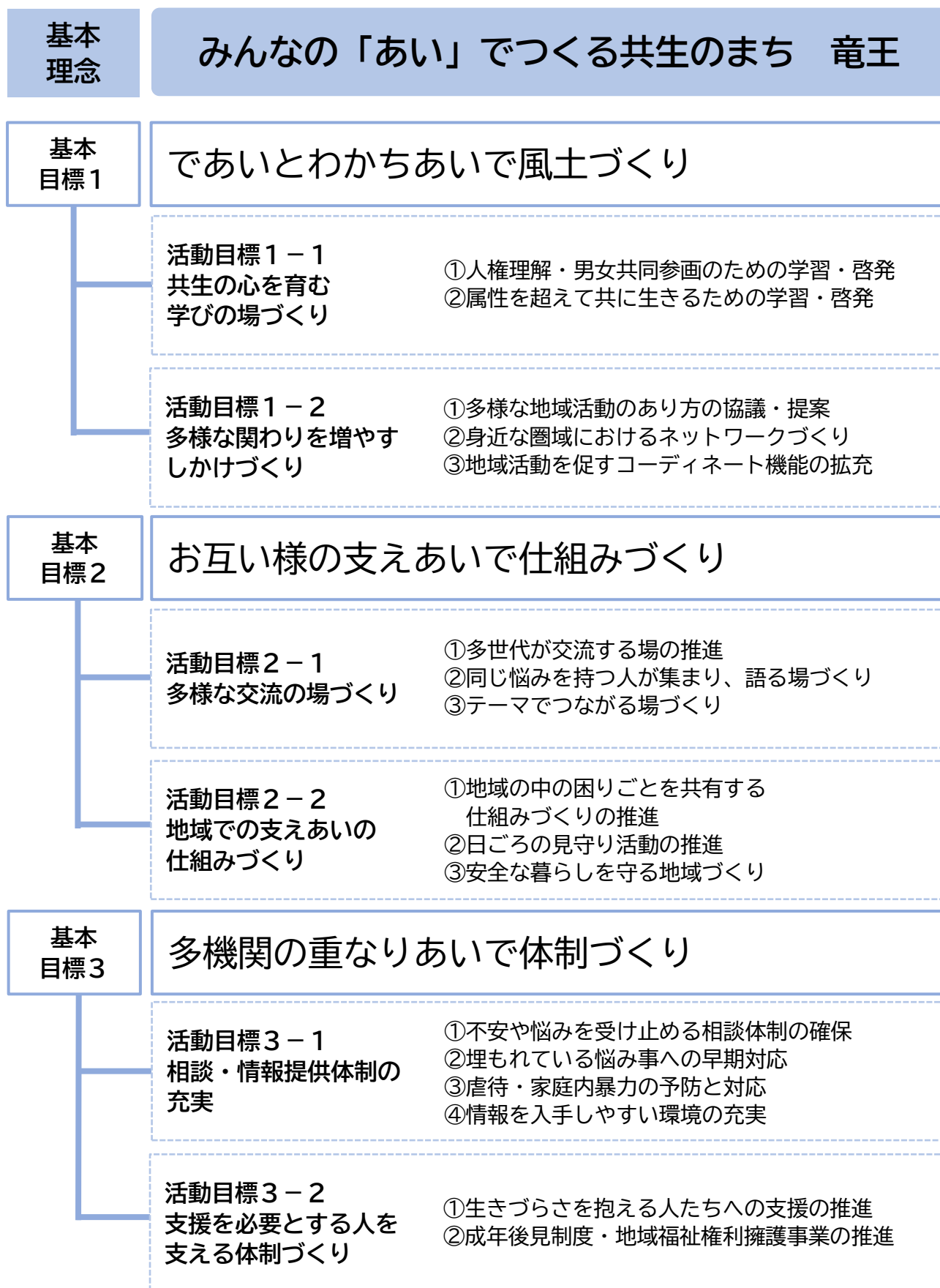
基本目標3

多機関の重なりあいで体制づくり

住み慣れた地域で必要な支援を活用してその人らしく生活できるように、また本人の意思を尊重しつつ、様々な分野の課題を丸ごと受け止めることができるように、行政、多職種が重なりあい、支えあいのネットワーク、総合相談体制づくりを進めます。

また、社会との接点が少ない人や身寄りの協力が得られにくい人に寄り添った支援を行うとともに、一人ひとりが地域で役割や生きがいを感じられる社会参加の場のコーディネートを行います。

4. 計画の体系



5. 重点プロジェクト

基本目標や活動目標を横断して進めていくべきテーマや、本計画において重点的に進めることで効果が見出しやすい取組を本計画の重点プロジェクトとして位置づけます。

また、重点プロジェクトは重層的支援体制整備事業のような施策と関連性が高く、複数のプログラムの集合体としてとらえ、進行管理を行います。

(1) 多様な主体が混ざりあうプラットフォームの創造

住民、関係団体、専門職、企業等の多様な主体や多世代が、暮らしの中や業務の中で感じている課題を解決するという共通の目的のもと、柔軟につながり混ざりあう協働の場を設けます。

また、そこから参加者同士の新たなつながりや展開を生むためのしかけを考えていきます。

具体的な 取組	○ALL 竜王見守りあいプロジェクトの開催 ○コミュニティビジネスの展開を検討する場の設置 ○フードドライブを活用したネットワークづくり ○専門職間の勉強会、交流会の場を活用した異文化交流や参加者の拡大 など
------------	---

■プラットフォームの一覧

		範囲		
		自治会	町域	広域
目的	同志の交流		町内社福法人連絡会	
		福祉関係3者交流		
	生活困窮		【新規】再犯防止ネットワーク	
			フードドライブ事業	
	見守り	【新規】気かけあう会議	【新規】ALL 竜王見守りあいプロジェクト	
		近助事業		
	災害		【新規】災害時の団体・企業とのネットワーク	

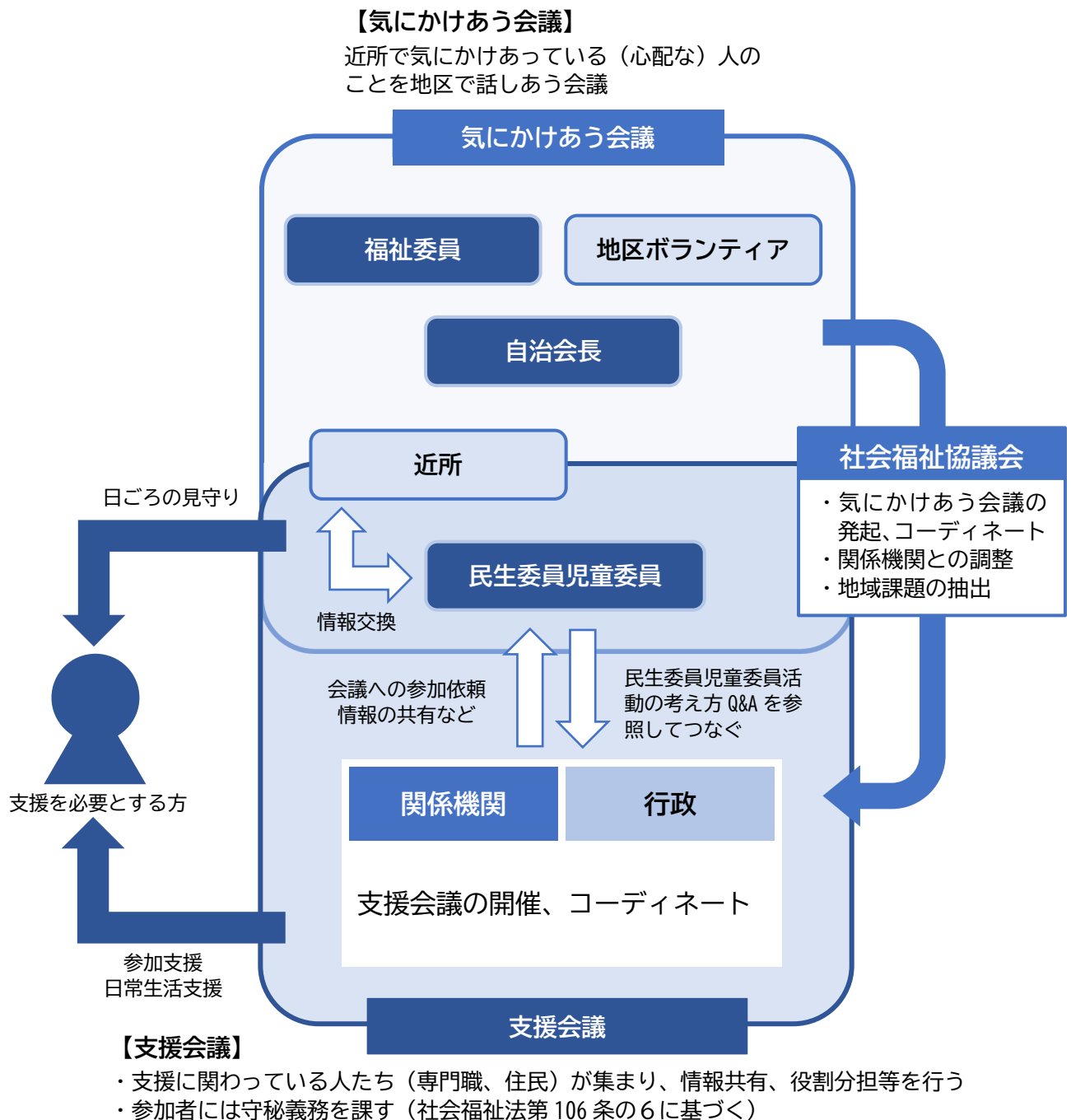
(2) 地域の「気かけあう」と専門機関をつむぎあう連携体制の構築

地域住民の日ごろの見守りから気かけあっていること、これからの地域の気になることを地域内で共有し、話しあう場を設けるとともに、気になる課題を支援する専門機関につなげます。

また、地域住民、専門職が協働し、個人を支えるチームづくりのためのコーディネートを行います。

具体的な 取組	○気かけあう会議の開催 ○社協職員による民生委員児童委員活動のサポート、ケースの調整 ○地域と専門職の連携を高めるための研修の開催 ○支援会議の開催
------------	---

■コーディネート機能のイメージ

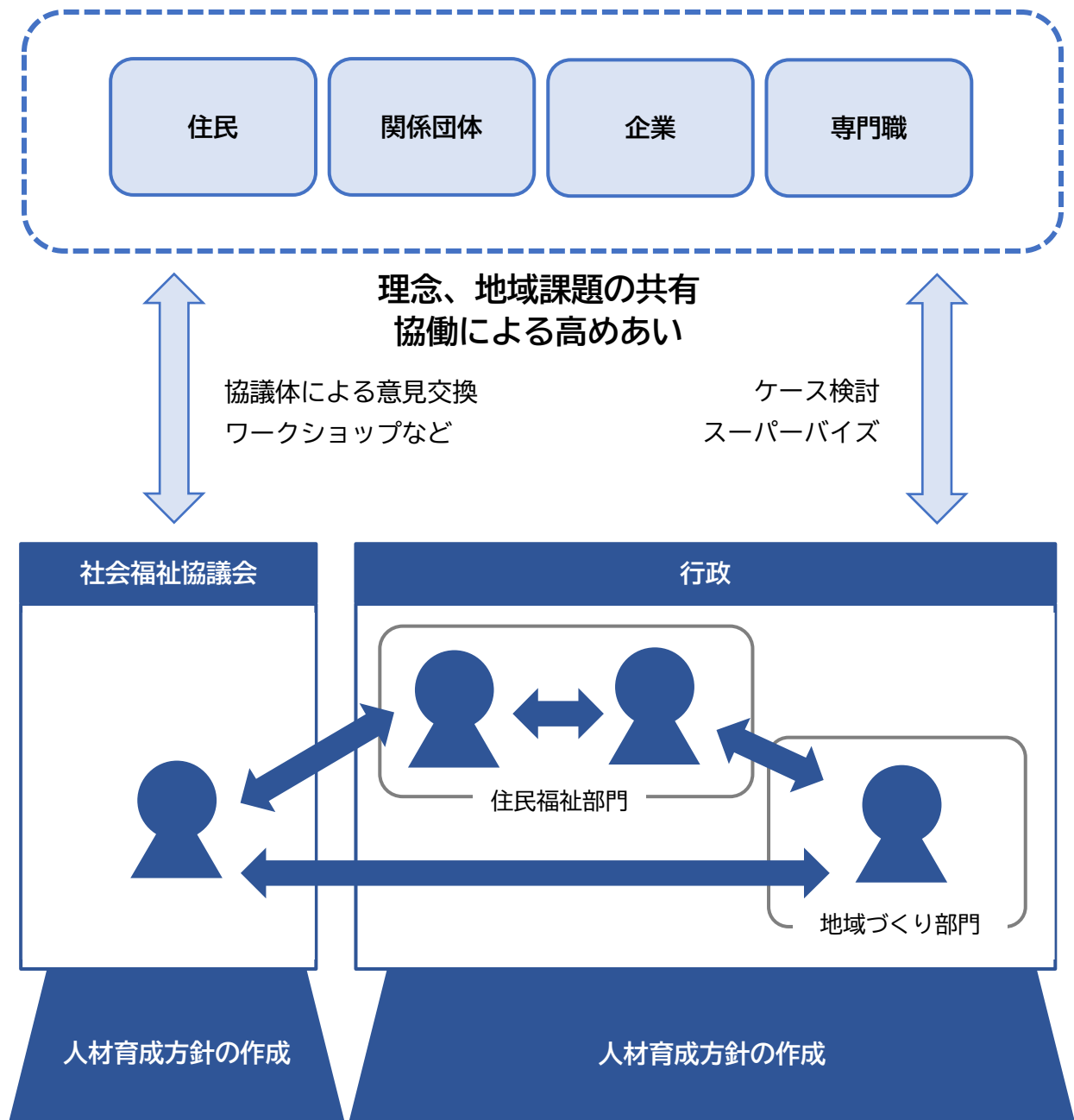


（３）地域福祉の推進、総合相談支援に必要なスキルを高めあう環境の整備

地域福祉をはじめ、地域づくりを推進できるスキル、ミッションを持った人材、多分野にわたる総合相談に対応できる人材の育成のためのキャリアラダーとなる指針を設けます。

具体的な 取組	○行政、社協の人材交流 ○地域づくり分野に関する専門性向上のためのキャリアデザインの作成 ○福祉保健専門職における総合相談支援の専門性向上のためのキャリアデザインの作成
------------	--

■スキルを高める環境のイメージ



6. 包括的な支援体制と重点プロジェクトの関係性

本町では、令和4年度（2022年度）より包括的支援体制の構築に向けて、行政、社会福祉協議会の役割等を明確にしながら、地域福祉計画の重点プロジェクトを推進しています。

重点プロジェクトは、共助の推進による地域づくり、公助の責務を軸とした相談支援、共助と公助の連携を高めるコーディネートポイントをポイントとしています。

下記の図のようにそれぞれの視点の関連性を意識し、包括的な重点プロジェクトの推進を図ります。

■竜王町における包括的な支援体制の全体像

